

# 春夏秋冬を彩るさんのへの祭り

楽しい  
おまつりが  
たくさん!



豊かな自然に恵まれた三戸町では、季節に合わせて四季折々の祭が行われてきました。春は約1,600本の桜が咲き誇る県南随一の桜の名所「県立城山公園」で「さんのへ春まつり」が開催され、圧倒的な桜と連日のイベントで県内外から多くの人々が訪れます。

夏は目抜き通りに立てられた竹に約3,000個のちようちんが取り付けられ、夜になるとちようちんのアーケードのような幻想的な雰囲気醸し出す「さんのへ夏まつり」が開催されます。

秋は町一番の大きなイベント「さんのへ秋まつり」。各町内のきらびやかな武者絵巻の人形山車が目抜き通りを練り歩きます。

冬は蛇沼地区の小中学生により「蛇沼大黒舞」が行われます。鮮やかな衣装に身を包んだ小さな大黒様が家々を門付けし、春を呼びこみます。その衣装と雪景色、そしてかやぶき屋根のコントラストに多くのカメラマンが訪れる冬恒例の行事です。

## 春



### さんのへ春まつり

青森県南随一の名所、城山公園を中心に、4月下旬から5月上旬まで開催され、10万人近い観光客が訪れます。期間中は歌や踊りなどのイベントが連日開催され、大いににぎわいます。

## 夏



### さんのへ夏まつり

別名提灯まつりとも呼ばれるさんのへ夏まつりは、竹に取り付けられた提灯が、アーケードのように町中心部を幻想的に照らし出します。歩行者天国はたくさん屋根とナニヤダラなどの踊りで盛り上がります。

## 秋



### さんのへ秋まつり

9月中旬に開催されるさんのへ秋まつりは、各町内会の作る豪華絢爛な人形山車が町の中心街を練り歩きます。南部地方に見られる人形山車祭りの中でも、三戸のものは昔のスタイルを色濃く残しています。

## 冬

春夏秋冬  
いつでも楽しい町だよ



### 蛇沼大黒舞

三戸町蛇沼地区に伝わる大黒舞。地区の小中学生を中心に、鮮やかな衣装を身につけて各世帯を訪問し、門付けを行います。その鮮やかさから、県内外から多くのカメラマンが訪れます。



### 斗内獅子舞(青森県無形民俗文化財)

斗内獅子舞の起源は、江戸時代三戸地方山伏の総支配を行っていた修験「斗内威徳院」のもとに、山伏神楽として創設されたと伝えられています。

権現様(獅子頭)や面、法螺貝などはすべて古くから伝えられたもので、面には優れたものが多く見られます。

現在は、斗内獅子舞保存会が継承に努めており、神事のほか、町の祭りや行事でも、門付けとして舞が行われています。

